

さいたま市の下水道料金値上げを撤回させましょう

さいたま市が下水道料金の25.4%の引き上げを計画（2014年7月実施）

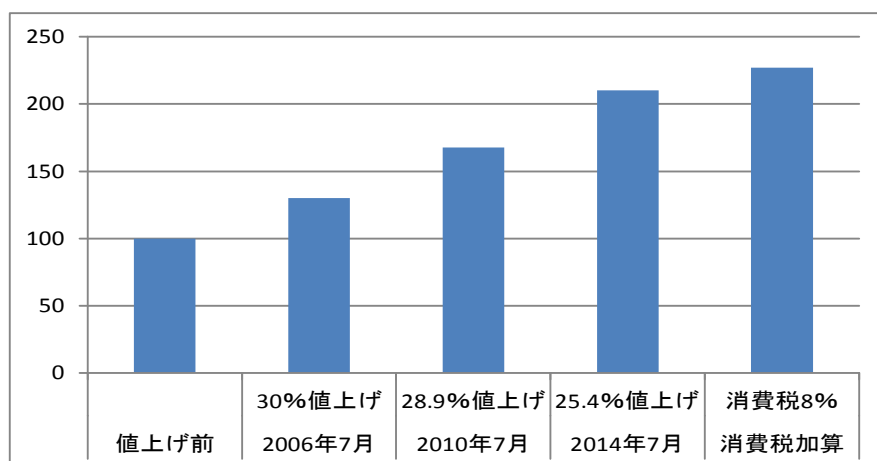
さいたま市長は、下水道料金の平均 25.4%の値上げを下水道審議会に諮問し、値上げを実施しようとしています。これが実行されると、さいたま市では、2006年、2010年に続き、3回目の下水道料金の値上げとなります。

値上げ率の高い、事業所、店舗、病院、保育所、学校などの経営に大打撃

今回の改定案では1ヵ月の使用量が40m³を超えると平均改定率を上回り100m³では32.1%、500m³では、35.6%になります。さいたま市には、大規模工場がほとんどないので、大口利用者の多くは、小規模の事業所・店舗、各種施設、病院、保育所、学校などです。下水道料金の値上げは、これらの経営や教育予算に大打撃を与えます。

下水道料金は、8年で2.2倍に上昇！消費税も加わって家計に大打撃！

さいたま市では、3市合併直前に下水道料金が一番高いところにそろえられ、その後、2回値上げが実施されました。値上げ前の下水道料金の平均を100として、グラフ化すると次のようになります。



◎請願署名にご協力ください。



指数 100 130 167.57 210.13 226.94 値上げ前を100として計算
※2回目、3回目の値上げは、過去に値上げした金額に改定率が掛かります。

さいたま市の補助金・出資金をゼロにするための値上げ

さいたま市は、一般会計からの拠出金が市の財政を圧迫しているので、補助金・出資金をなくすと説明していますが、とんでもありません。下水道事業への補助金より、はるかに多くの税金を大型開発に投入しています。大型開発優先の施策こそが、財政圧迫の原因です。下水道事業への補助金、出資金ともゼロというのは、政令指定都市では、一つもありません。市の責任を放棄する異常な事態です。

インフラ整備を下水道料金でまかなおうとするやり方は許せない

下水道は、水道と同様に最も大事な生活基盤です。生活基盤の整備は、市の責任で行うことが当然です。下水道のインフラ整備まで、下水道料金でまかなおうとする清水市長の姿勢は許せません。ましてや、自転車競技「さいたまクリテリウム」のずさん経営で出た赤字を1.5億円の税金投入で穴埋めしようとする清水市長に値上げ提案の資格はありません。

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル 2D FAX 814-1912

平和・民主・革新の未来を開くさいたまの会(略称:未来さいたま 通称:さいたま市革新懇)

※市内57団体が加入、2012年11月16日発足。URL <http://mirai-saitama.org>
思想信条を超えて、市民が主人公となるさいたま市の実現をめざしています。